ケビン・メア米国務省日本部長（前在沖米国総領事）の発言に対する抗議決議

ケビン・メア米国務省日本部長による「沖縄県民は、ゆすりとごまかしの名人で怠惰」との発言報道は沖縄県民を驚愕させている。

米大学生に向けての講義の中の発言とはいえ、県民性に対する誤った認識を内外に発信するものであり到底、看過できるものではない。また在沖米国総領事在任中にも県民の心情に配慮しない不適切な言動を多々行い、物議を醸してきた人物でもある。

今回のメア発言は戦後６５年間、基地の重圧に苦しみ、今なお過重な基地負担を強いられている沖縄県民を愚弄し、侮辱するものであり断じて許せるものではない。

よって、本議会は、メア米国務省日本部長の差別的で沖縄を植民地扱いしている発言に対して厳重に抗議し、発言の撤回並びに謝罪、そして米国務省日本部長の辞任を強く要求する。

以上、決議する。

平成２３年３月９日

沖縄県うるま市議会

あて先　米国大統領、米国務長官、駐日米国大使、米国務省日本部長、
在沖米国総領事